

平成16 (2004) 年4月21日

第 25 号

世田谷稲門会 一肇
行 人 世 田 谷 稲 門 会
發 行 人 土 倉 亨
編 集 大 須 賀

事務局 〒157-0072
東京都世田谷区砦8-19-15
寺 澤 隆 夫 方
TEL/FAX03-3415-1887

世田谷稲門会会報

「世田谷稲門会」

第十三回定時総会」

五月二十二日 (土) 開催へ

標記総会は午後五時より「こまばエミナース」で開催されます。

詳細については(別紙)「第十三回定時総会のご案内」をご覧ください。

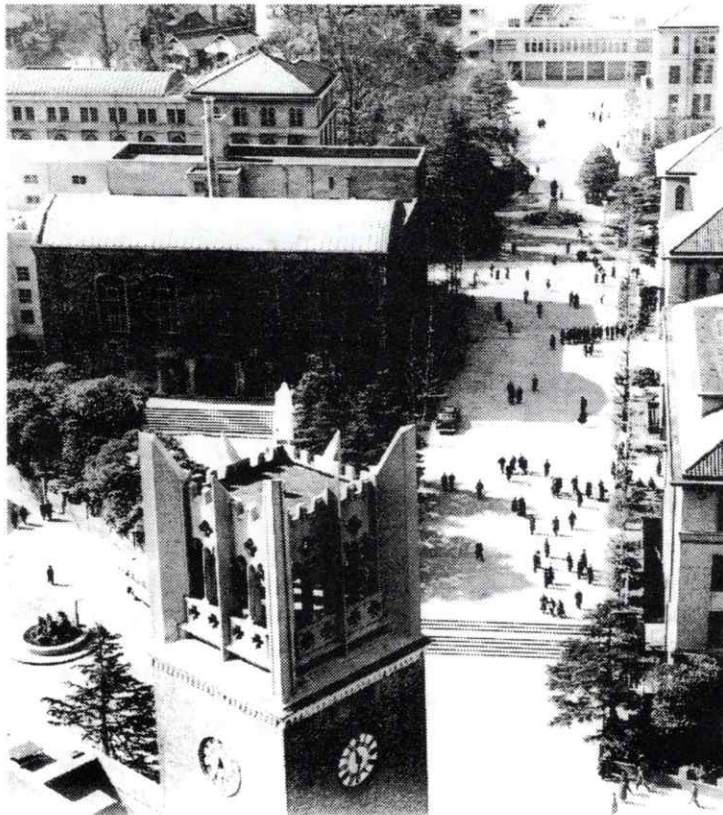
ご多忙のところ誠に恐縮ですが、万障お繰合せの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

なお当日ご出席いただけない場合は、ご案内状同封委任状(返信用はがき)にご記名ご押印の上ご回答下さいます様をお願いします。

なお権限委任者欄が白紙の場合の委任は議長とさせていただきます。

講演会・懇親会

総会終了後、早稲田大学よりの来賓の学内事情報告をか



ねたご挨拶をいただきその後左記「講演会」及び「懇親会」が行われます。

記

◆「講演会」午後六時

(講師) 大橋正明氏

(演題) 「私のNGO活動」(仮題)

(講師略歴) 恵泉女学園大学

教授・昭和五十三年早大政経卒

◆「懇親会」午後七時
和・洋・中華料理の「バイキング」(着席)方式で行います。

◆世田谷稲門会 新年懇親会

一月三十一日(土)午後五時より「こまばエミナース」で開催。百二十六名の出席を得て盛大な会合となった。

開会に当り土倉亨一会長の挨拶があり続いて第一部講演会が行われた。

鈴木宏治副会長の講師紹介後、天児慧氏(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)

平成十六年度
「世田谷稲門会・行事日程」

◆総会。講演会。懇親会。
五月二十二日(土)

◆納涼会
八月下旬(予定)

◆新年懇親会
一月下旬(予定)

なお十月二十四日(日)

二〇〇四年度(第三十九回)ホームカミングデー

「稲門祭当日」「東京二十三区支部稲門祭校友のつどい」が大隈庭園で開催される予定です。

稲門祭と園遊会は次の会場で行われます。

西早稲田キャンパス・大隈講堂・大隈庭園

ホームカミングデー招待者以外でも校友の方ならどなたでも参加できます。

注 「ホームカミングデー」とは卒業後一定年数を経過した校友の方々を母校へお招きし、大学の近況などに触れていただくとともに、大学および校友の方々との交流親睦の場としてご歓談いただく催しです。



講演 天兒慧教授

が「大国化する中国の政治・経済と外交」と題し講演し、聴衆に感銘を与えた。

第二部は着席スタイル和洋中バイキングでの懇親会を「ダイヤモンドホール」で行った。鈴木宏治副会長の司会で会は進行。九十八歳で間もなく白寿を迎える内藤隆福氏（昭六理工卒）の発声で乾杯、懇親会が始まった。来賓紹介につづいて山口治夫杉並稲門会副会長の祝辞があり、次いで新入会員九名の自己紹介があった。宴酬の頃、全員に賞品の当るビンゴゲームが始まり、柏良子常任幹事・高橋和敏幹事ほか女性会員による手際よい進行で場の空気は一気に盛り上った。

◆新入会員氏名（順不同・敬称略）

- 菊池 吉晏（昭三十四年政経）
- 幸田 清和（昭三十六年理工）
- 天野 善弘（昭三十九年法）
- 林 素行（昭四十二年政経）
- 友吉 彰（昭四十二年政経）
- 桃井 清治（昭四十四年政経）
- 永井 達也（昭五十年政経）
- 奥田 一志（昭五十二年商）
- 久保田浩章（昭六十年理工）
- ◆ビンゴゲーム賞品寄贈者（順不同・敬称略）
- 藤井秀彦・柴田昇・志水洵
- 一・天野善弘・守屋寧夫・木下清子・寺澤隆夫・土倉享一・菊池吉晏・田中文克・細澤勲・石井孝之・柏良子・岩上健一・草野昭次・鈴木宏治・斎田秀雄・大須賀肇・岡本早苗・木村滋・内藤隆福・小山田安弘

紙上を借りて厚く御礼申し上げます。



乾杯発声 内藤隆福氏



〈出席者〉

- 〔来賓〕天兒慧教授・（杉並稲門会）山口治夫副会長・石松浩一郎事務局長・（目黒稲門会）中西千可子幹事
- 〔会員〕天野孝一郎・荒井清・井澤貞夫・石井孝之夫妻・磯田稔・市川隆彦夫妻・岩沙脩・岩富孝・上田忠雄・上保幸夫・江原利次・遠藤智・大内秀行・大崎介蔵・大西幸男・岡本早苗・奥泉金三・奥田隆・小山田安弘・加藤隆夫・兼子慎介・兼子信子・金子知一・川井康彦・河内文雄・木下清子・木村滋・草野昭二・杏掛元砥・久保宏・熊本昭二夫妻・栗山佳三・郡山弘文・斎田秀雄・斎藤正憲・

◆「天兒慧教授講演要旨」

中国のGDPは一九八〇年の四五・一七億元（約三千億ドル）が二千年には八兆八一九〇億元（約一兆〇七一億ドル）となり八〇年比で約二〇倍に増加し、尚現在七〇八％の成長を持続している。

その要因は(1)大量の外資の流入(2)外資系企業牽引の対外貿易(3)大量の国債発行と内陸基本建設投資等々で強気の経済発展戦略を展開している。

しかしながら中国は社会的構造的変容と経済社会的課題を抱え今後は今までの様な成長を持続することは困難であると思われる。

即ち新しい都市開発の進む一方、農村と都市部の格差拡大、失業の増加、エリートによる経済腐敗の増大等を克服することが大きな課題である。

一方、外貨準備高は日本に次いで現在世界第二位であり、廿一世紀第一・四半期には米国に次ぐ、世界二位の経済大国を目指して中長期的国家戦略を進め、また「アジア地域

大国」に向けてASEANとのFTAを始め、米国を含ま

（敬称略）

（大須賀肇／記）

ない地域協力にも積極的で対米協調を堅持しつつ、非米勢力の連携・拡大を目指し、国際協調路線を強めている。

現在、中国の対日感情は必ずしも良好ではないが、戦争世代の後退で、より冷静、理性的なアプローチは徐々に強まり日中信頼醸成メカニズムの創設等により相互の健全な関係が造成されていくと思われる。

(文責 大須賀肇)

◆「東京二十三区支部大会」
「白井総長を囲む会」



白井総長を囲んで岡本早苗さん 莊司真恵さん

二月十八日(水)午後六時より「リーガロイヤルホテル東京」で開催された。出席者は来賓十六名と東京二十三区各稲門会会員二六六名の参加で盛大に行われた。

この大会は東京二十三区支部設立後初めての総長を囲む会であり第一部講演会は清水英男氏(東京二十三区支部幹事・荒川稲門会幹事)の開会の辞のあと支部長挨拶(真仁田勉会長病欠欠席のため鈴木宏治東京二十三区支部幹事長がメッセージ代読)があった。

講演は「どうする この日本経済」(植草一秀早稲田大学大学院公共経営研究科教授)

につづき「早稲田大学 この意欲的改革」(白井克彦早稲田大学総長)で御両人の熱弁は聴衆に感銘を与えた。

つづいて第二部懇親会が行われた。鈴木宏治東京二十三区支部幹事長・世田谷稲門会副会長の司会により進行。早稲田大学一二五周年記念募金目録贈呈が行われ支部長(代理手塚善雄副支部長・千代田稲門会長)より白井克彦早大総長に手渡された。(寄付金五十万円)

来賓紹介(早稲田大学関係・東京三多摩支部・神奈川県支部・千葉県支部各関係者)の後、来賓挨拶(早稲田大学校友会代表幹事小林栄一郎氏)



があり、同氏による乾杯発声で全員が祝杯をあげ開宴となった。

バンド演奏(ナレオシックス アイランズー早稲田大学OB・一九九七年結成)を聞きながら立食パーティの歓談の輪は広がり会場の雰囲気は最高に盛りあがった。やがて校歌斉唱の時刻となり全員大きな輪となって肩を組みながら校歌の大合唱を行った。指揮は石川範行東京二十三区支部豊島稲門会幹事。中締めは手塚善雄東京二十三区支部副支部長・千代田稲門会会長で盛大な会を締めくくった。

「世田谷稲門会よりの参加者」(二十八名で二十三区中最大多数であった。)

土倉享一・山口進吾・大須賀肇・柴田昇・寺澤隆夫・鈴木宏治・川村保夫・武藤哲・高橋和敏・莊司真恵・岡本早苗・友吉彰・岩沙脩・新井武・石綿美知子・石井孝之・福田光則・真木郁夫・前川俊子・細澤勲・西田達雄・角田真一郎・杏掛元砥・奥田隆・江原利次・下条忠雄・熊本昭二・渡辺八郎(敬称略)

(大須賀肇/記)

『各部会報告』

「ゴルフ部会」

会報二十四号でお知らせしたように、十五年度のゴルフ部会は予定通り四回(日高・大月・中津川・飯能)開催し、合計一五一名の会員諸兄妹が参加。その他十一月の「総長杯ゴルフ大会」が埼玉おむらさきCCで行われ、当会からも約十名が参加し、寺澤徹さんがベストグロス賞(一番打数が少ない人に与えられる)に輝いた。

又当会のゴルフは(一)できただけ参加し易いよう東名・中央・関越沿線のゴルフ場とする。(二)できるだけフラットなコースを選ぶ。(三)プレー代が一万七千円以下を心掛ける。(四)できればカート利用できるコース等を開催場所とするよう世話人で打ち合わせている。

又毎回四十人以上参加するので、現役の方には申し訳ないが平日開催にせざるを得ない。但し火・水・木・金曜日

に開催するよう努めている。そして現役の方が少しでも参加し易いよう(予定を組む上で)約二ヶ月前には案内するようになっている。

●会員数 一〇一名

●世話人

代表 平井恒夫(二十九政経)

競技 森 昌治(三十八商)

記録 井澤貞夫(三十五理工)

会計 寺澤隆夫(二十九商)

監査 守屋寧夫(三十五商)

●年会費 二千元(年)

●今後の予定

三十八回 四月一日 中津川

CC

三十九回 六月 大月CC

四十回 九月 千葉方面

四十一回 十一月 飯能CC

(三十九回以降は予定)

(寺澤隆夫/記)

「ボウリング部会」

当部会は毎月一回、第三または第四日曜日に、世田谷オークラポウルで、渋谷稲門会と合同で例会を開催しております。

昨年十一月は十一名の参加、莊司さんが絶妙のコント

ロールでスベアーを確実に取って高得点でトップ、佐山、山口両氏も持味を発揮して健闘。

一六八点 莊司 真恵

(四十三教育)

一四三点 佐山 順孝

(三十四法)

一三九点 山口 進吾

(三十三法)

十二月は参加九名。戸井田さんが久しぶりに尻上がりの好調さを見せて、三ゲーム目、四ストライク四スベアーの大健闘。トップは実力派の山口さんに譲るも、体調復活は嬉しいかぎり。

一五六点 山口 進吾

(三十三法)

一四七点 戸井田幸雄

(四十三教育)

一四二点 和田 全正

(三十七理工)

一月は参加十名。新井さんが三ゲーム全て一五〇点を超える

投球で独り舞台、お見事!!

一七九点 新井 武

(三十三商)

一四二点 宮木 甫

(三十文)

一三四点 江口 力

(二十四政経)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

(二十文)

二月は十七名の参加。齋田さんがストライクの四連発を見せて、二年ぶり二〇〇点超の新記録の夢を抱かせてくれたのが庄巻!!今一歩およばず残念。江口さんもスタート直後ターキー(三連続ストライク)の見事な技能賞。初参加の河内文雄さん(三十四法)もスピード豊かな若々しい投球で大健闘。

一九一点 齋田 裕二

(五十政経)

一五二点 江口 力

(二十四政経)

一三五点 宮木 甫

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

(三十文)

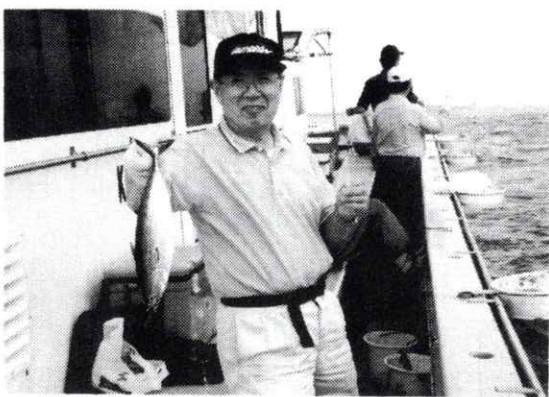
(三十文)

(三十文)

「釣り部会」

一月二十四日(土) 平塚沖鯛五目釣りを變更し、茅ヶ崎沖真鯛を沖右工門丸にて、成田、柴田二名参加、前夜玉川会のカラオケ、シャンソン、酒を六本木で過ぎた割りに元氣良く挑戦したが、道具、仕掛が五目用の為、全く不調、小鯖数匹に終わった。

二月十四日(土) 東伊豆海岸磯釣り、十三日より富戸堤防にて、大型海たなご数匹を上げた寺島氏と合流、富戸、川奈の地磯を攻めたが、めじな全く当りなし。遂に南下し熱川穴切り地磯に転戦、やつ



と三十糧級のめじなを釣る事が出来た。今回は初めて、餌には、はんばのりを使用した。はんばが入手出来るなら舞鯛ねらいの方が良いかも知れない。他にかさご、かわはぎもねらいたいが、もうじき溪流の解禁となる。

三月一日(二日) 狩野川上流の地藏堂川で解禁を迎える。

寺島氏は、一日雪の降る中で二十五糧のあまごをゲット。

小生は、寺島氏の二日より同釣、萬城の滝の上流にて、朝・夕攻め、あまご四匹、いわな十一匹をゲット。あまご二匹はさびが有り、盛期にならないとあまごらしくない。

しかし五ヶ月振りの溪流釣りなので、堪能する事が出来た。

現在釣り部二十二名、毎月月中の土・日溪流か磯釣り、毎月最後の土曜日を船の沖釣りに予定されている。今年九月には、はぜの天ぷら船を予定しているの、是非参加して下さい。

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

(柴田 昇/記)

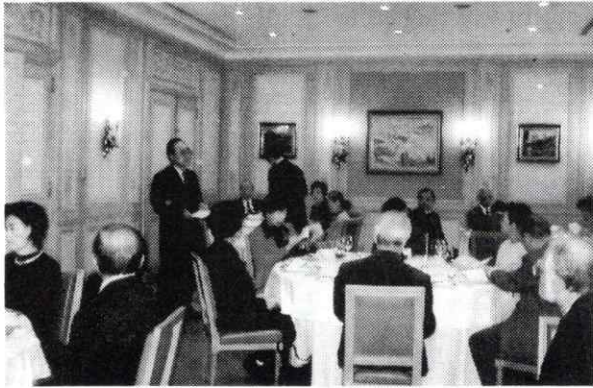
(柴田 昇/記)

「食べ歩き部会」

(一) 平成十五年十二月三日(水) 十一時三十分より平成十五年度第二回例会を開催。参加者二十六名。

今回は恵比寿ガーデンプレイスの顔にもなっている超一流の「シャトーレストラン」で本場のフルコースのフランス料理とフランスワインを賞味した。

世界中のグルメの憧れの的「十八世紀ルイ王朝様式のシャトー」でパリで今をときめく「ミシュラン」の三星レストラン



ン「タイユバン」と「ロブション」がタッグを組んだ超一流の饗宴を満喫した。

世話人よりの会務報告・初参加会員加藤礼子さんの自己紹介があり江原利次氏の発声による乾杯後、宴に入った。各テーブル共話題に花が咲き、ワインの香りや味に加えて蕨肴を傾けながらの楽しい時間を過ぎ十四時三十分閉会。

解散後は三々五々、恵比寿ガーデンプレイス内の散策や東京都写真美術館・恵比寿麦酒記念館等の見学を行い見聞をひろめた。

(出席者) 麻生卓司 上田忠雄 夫妻 江原利次 大須賀肇 岡本早苗 菅田美代子 奥田隆 柏良子 加藤隆夫夫妻 加藤礼子 岸田正和 熊本昭二 郡山弘文 犀川千代子 榊原麻莉 荘司真恵 鈴木宏治 高葉宏 辻村ひろみ 細沢勲 水島豊夫妻 武藤哲渡部寿之 (敬称略)

(二) 平成十六年二月二十一日(土) 平成十五年度第三回例会を開催。参加者二十七名。世田谷の閑静な住宅街にある一見洋風レストラン風に見える明るいかジュアルな店



「火龍園」で、唐朱興料理長が腕をふるった旬の食材と新鮮な魚介類を中心とした献立の中華料理を賞味した。

初参加の菊池吉晏氏より自己紹介があった。その後世話人より会務報告と新年懇親会(全体会)と東京二十三区支部大会(白井総長を囲む会)経過報告・三月十三日上越新幹線本庄早稲田駅の開業・本庄プロジェクトの早稲田リサーチパークの概要報告等を行った。

加藤隆夫氏の発声により全員元氣良く乾杯、懇親会は開宴。各テーブル共紹興酒の酔いが

がまわり、美味な中華のコース料理に舌つづみをうちながら談論風発会は盛り上った。この間「東京二十三区支部大会に世田谷稲門会より二十八名(内当部会より十五名)の多数の参加により大盛会であったことへの謝辞」(鈴木宏治 東京二十三区支部幹事長)

「日台稲門会行事」(木村滋氏)「中国王朝街道の旅」の参加勧誘(水島豊氏)等の話題が提供された。楽しい歓談の時は過ぎ十四時三十分閉会。

解散後は三々五々近くの羽根木公園まで散策、園内に咲きほこり馥郁たる香を放つ満開の紅梅・白梅(六十六品種七百本)を心ゆくまで観賞し、春の訪れを一足早く感じとった。

(出席者) 麻生卓司 上田忠雄 夫妻 上保幸夫 江原利次 大須賀肇 柏良子 加藤隆夫夫妻 菊池吉晏 木村滋 熊本昭二 志賀利吉 荘司真恵 鈴木宏治 関根昌一 妹尾昭一 高葉宏 辻村ひろみ 寺澤隆夫 松居泰三 水島豊夫妻 矢尾板煥二夫妻 渡部寿之 渡辺八郎 (敬称略)

(大須賀肇/記)

「麻雀部会」

当部会は創部五年目を迎える本年度は会員相互の親睦を一層深めることに注力している。尚、文中会場は小田急線成城学園前駅徒歩一分、麻雀荘「だんとつ」集合時間は十二時三〇分(氏名敬称略)

(一)、十二月十四日(日) 第三十九回忘年麻雀大会 師走の忙しい一日、同好の善男善女が三十二名集まり来年度の運試しを兼ねて開催した。前半は加藤・吉村の両女性陣のリードを草野、宮木、原のベテラン男性軍が追う展開となり決着は最終回に持ち越された。最終回執念でトップをとった草野氏が、ピリを引いた加藤、吉村(登)、原(明)各氏を押さえ、念願の初優勝を遂げた。

上位入賞者、優勝 草野昭次 準優勝 原明 三位 国沢俊一 四位 吉村登喜子 五位 麻生卓司 六位 長谷川義樹、七位 宮木甫、八位 蒲原信一

(二)、第四回麻雀部忘年会 試合の余韻も醒めやらぬ同日午後六時より、会場の隣り

のビルの三諧の焼肉店に総勢三十二名が集まり、本日の優勝者、草野氏の挨拶の後、和やかな雰囲気の下開催された。

「麻雀を楽しむ会」から三名の女性軍も参加され会場の雰囲気は華やかに盛り上げた。午後八時、一年間の健闘を称え、来年のより一層の研鑽を祈って散会した。

(三)、十二月十三日(土) 第八回麻雀を楽しむ会

五人の女性参加者を二名の男性講師がウーマンツーマン方式で、スピードアップと各種役作りをテーマに開催した。(四)、一月十七日(土) 第十四回親睦麻雀大会

屠蘇気分も醒めやらぬ日本晴れの当日、二十二名が参加し開催された。ここ数回不調をかこつていた上保氏が初回から飛ばし、完全優勝は逃したものの二位以下を大差で離し優勝した。二位には初回躓くも、実力をジワジワ発揮した市川氏、三位には、初回の大量得点を守り切った蒲原氏が入った。

上位入賞者 優勝上保幸夫 準優勝市川隆彦、三位蒲原信一、四位加藤礼子、五位原諒

子、六位寺澤隆夫、七位宮木甫、八位大矢和親 (五)、一月十八日(日) 第九回麻雀を楽しむ会

女性参加者四名を男性講師二名が、役作り、ルール違反等を事例をあげながら説明、コーチした。(六)、二月十五日(日) 第四十一回親睦麻雀大会

快晴に恵まれた寒風吹きさぶ中、女性五名を含む総勢二十八名の勝負師が集い熱戦を繰り広げた。試合は序盤戦から快調に飛ばした吉村登喜子氏が二位以下を大差で引き離し、独創体制で完全優勝を遂げた。二位には奥方の大活躍に刺激され、最終回六八点をモギ取ったご主人の吉村義智氏が入り、当部創部以来の駕籠ワンツーフィニッシュとなった。三位には終盤迄優勝の一角に踏み止まった草野氏が入った。

上位入賞者 優勝吉村登喜子、準優勝吉村義智、三位草野昭次、四位藤山康夫、五位秋元孝禧、六位木村滋、七位原諒

子、八位渡辺秀子 (七)、二月十四日(土) 第十回麻雀を楽しむ会

女性参加者六名を男性講師二名が指導、コーチした。(下谷内苑/記)

「ウォーキング部会」

十五年度に発足した部会であるが、毎月第一日曜日(原則)に開催しているのが早くも三月で第十五回目となった。参加者も大体十名前後で、企画担当が選定したコースを歩いている。

●会員数 三十二名 ●世話人

- 代表 寺澤隆夫(二十九商)
- 企画 新井 武(三十三商)
- 企画 河内文雄(三十四法)
- 会計 國澤俊一(四十三理)
- 監査 岩沙 脩(二十九政経)
- 参加方法
- 希望者は新井(三四二五―四一八)又は河内(五四五〇―一六〇九七)にお申出下さい。
- 年会費 通信費として千円(年)をお支払い下さい。
- 今後の予定

十七回 五月九日 母校を訪ねる。十三時三十分高田馬場集合大学・漱石公園・神楽坂・後楽園庭園 約六軒

十八回 六月六日 実篤を偲ぶ 京王線つじヶ丘集合 武者小路実篤をしのいで、実篤公園とつじを見る。約五軒

十九回 七月四日 新臨海都市有楽町線辰巳駅集合

さま変りした臨海都市とレインボーブリッジを巡る。約八軒と今迄で最長距離

ウォーキングというと、同じ恰好した人達が、ソロソロ歩いているのを思い浮かべるが我が稲門会はスマートに数人が話しながら、ノンビリと歩いている。まして早稲田の旗などは仰々しく立てていないのでご安心下さい。

健康の為に日頃運動不足気味の方は、是非一緒に歩きましょう。(寺澤隆夫/記)

「カラオケ部会」

当部会は、平成十三年十月に発足、まだ三年足らずの若い集団ですが、会員数も四十名と順調に成長、楽しく活

動しております。今回は、活動内容や会員の特徴等、概要をご紹介しますと思います。(一)、年間活動スケジュール

一月 例会(新年会を兼ねる) 三月 例会 六月 例会 九月 特別部会(カラオケ一泊旅行)

十一月 例会(総会も兼ねる) 会場は、三月・六月・十一月の例会は、用賀のカラオケボックス「ドレミファクラブ」の個室を、借り切り開催しています。

一月の新年会は、趣向を変え、区内の評判の良いカラオケサロンを選び、店ごと借り切り、歌の競演を行っていただきます。何れも、土曜又は日曜日の午後の時間を利用し、フリードリンク、軽食付きで、歌を通じ会員相互の親睦を図っています。

九月の特別部会は、当部会のメインイベントとて、関東周辺の温泉地の中から、ここぞという所を選び一泊旅行を行います。この時は、カラオケでなく、地元の名泉、料理、名所・旧跡等の観光も楽

しむ、欲張りな旅です。今迄の実績は、平成十四年度が伊香保、十五年度は、石和の温泉郷で各々老舗の宿を選び実施しました。

(二) 部会員の特徵

まず年齢幅が広いこと、下は二十歳台で、上は、何んと百歳、他部門にないユニークさです。

歌のジャンルですが、新曲、ナツメロ、演歌、ポップス、バラード等、各人の好みは、多岐にわたり、賑やかです。

レベルの方も、さすがに歌好きの人ばかりで、なかなかなものですが、なかでも「のど自慢鐘三つ」クラスの实力者が数名おり、全体のレベルアップに貢献しています。

もう一つの特徴は、皆さんの趣味が広いこと。カラオケでなく、ゴルフ・囲碁・麻雀・ボーリング・食べ歩き等、一人平均三つ程の部会に所属しており、遊びの達人の集団です。この為、世話人は、他部門と行事が、重ならないよう、苦労しております。

(三) その他

(費用)
年会費 一千元

例会費 原則として三千五百円

特別部会費 二万三千元前後
(場所により多少異なりますが、区の指定施設等を利用し、コスト削減を図っています。)

(会員数) 四十一名(平成十六年二月末現在)
(代表世話人) 蒲原信一
(蒲原信一/記)

「写真部会」

「写真部会」は今年二年目に入りました。部会発足時は運営について手探りの状況でしたが、皆さんが「作品を作る」と言う方向で意見一致をし毎回例会では作品を持ち寄り、忌憚の無い意見を交換しあいレベルアップに励んでおります。そして見る間に上手になってきております。部会の最長老「桜木武比古さん」はフィルムカメラ、デジタルカメラを駆使され、撮影会では皆さんと違ったアングルで撮影され、一番熱心に作品を披露され、ご意見を述べられています。部会唯一の女性会員「小池福子さん」は石仏に

永年に互り関心がお持ちで、全国の石仏を写真に撮りたくて参加されましたが、この部会に参加され撮影技術の大切さを感じとられ、まず写真の腕を上げる事が大事と考えられ、またデジタルカメラにも興味があり、「EOS 2000」を積極的に受講され写真技術とデジタル処理を勉強されレベル向上が著しいです。当部会のメンバーはフィルムは勿論、デジタル画像にも強く撮影技術やデジタル関連の最新の情報も大いに会得出来る環境になっていきます。「豊田 宏さん」は世田谷区主宰の写真コンクールで第三位に入賞され世田谷美術館に三月十日(水)〜十四日(日)に展示されました。

(種谷鴻成/記)

「囲碁将棋部会」

(第十二回囲碁将棋の会)
今回は「杉の宿」で合宿を行った。

今年例年になく春が早い。寒さは繰り返しながらだんだん遠のいていく。春一番も既に吹き、梅林の季節を通り過ぎて、早桜の声もちらほら耳にする。

そんな三月七日の日曜日、一泊二日の世田谷稲門会囲碁将棋部会を湯河原の「杉の宿」で行った。

今回は、参加者が七名とこの外少ない。少ない理由は、春の観光シーズンの到来で海外旅行とかち合った為である。例により小田急成城学園前駅で待ち合わせ、小田原経由、JR湯河原駅に到着したのはおよそお昼頃。湯河原駅の東側の土手には梅の外、早咲きの桜芽もほころんでいる。梅見の季節も早や終わりに近い。最後の梅見の日曜日の昼下がりにある。散り行く梅林をさまよおうと、梅見のお客がまだかなりの賑わいを見せている。

(矢田廣/記)

「杉の宿」までは一本道だが、湯河原の梅林はその道の突き当たりにある。当然道は混み、タクシーで途中まで行くと、はや車が数珠繋ぎ。やむなく車を降りエッチラオッチラ坂道を上る。ふと、頭を上げて前方を見ると、遥か彼方の山の中腹に、うす桃色の梅林

の一団がたなびく霞のごとく見えている。天気もよくやや汗ばむ陽気である。

「杉の宿」に到着。一頻り休んで、囲碁を囲み、皆打ち始める。総当たり戦での対局。武藤七段、蒲原五段以下、持ち点制の対局である。相変わらず武藤さんが勝ち進む。五、六局打ち終わって、夕食になる。宴のひととき。海の幸のたっぷり入った二台の船盛りを囲みながら、今打った対局の手を反省しつつ、酒を呑み交わす。楽しい議論が続く。宴の後は再び、対局に戻る。夜半近くまで囲碁を打ち、風呂に入り、その夜は終わった。翌朝から昼近くまで対局を重ね、昼食後、杉の宿を後にした。

参加者(順不同敬称略)

武藤哲・星野聡史・蒲原信一・渡辺八郎・奥田隆・荻原健・矢田廣。



『ブロック会組織』

1年前に発案されましたブロック別の会もやっ和下記の通りのブロック会の体制が、出来上がり、愛称、代表世話人、世話人も決まり、発足する事ができました。

| (愛称) | (代表世話人) | (世話人) | (地区別) | |
|----------|---------|-------------------------------|------------------------------------|--|
| | | | (利用駅) | (町名) |
| A 西北会 | 寺島邦夫 | 横田、加藤、木下 | 京王線代田橋～下高井戸 井之頭線池ノ上～明大前 世田谷線 | 北沢、大原 羽根木、松原 代沢、代田 |
| B 千歳会 | 武藤哲 | 土倉、山口、鈴木 | 京王線桜上水～千歳鳥山 | 桜上水、上北沢、八幡山、 南鳥山、北鳥山、給田、上祖師谷、粕谷 |
| C けやき会 | 天野孝一郎 | 永井、石綿、前川 | 小田急線梅が丘～千歳船橋 世田谷線 | 梅丘、豪徳寺、経堂、宮坂 桜丘、桜、船橋、赤堤 |
| D キャロット会 | 守谷之男 | 森、萩原、富塚、 奥田、新井、渡辺 | 田園都市線池尻大橋～ 駒沢大学 世田谷線 | 池尻、三宿、野沢、太子堂 若林、三軒茶屋、下馬、駒沢、駒沢公園 |
| E きぬた会 | 宮木甫 | 寺澤、川村、 | 小田急線祖師谷ヶ谷大蔵 ～喜多見 | 成城、砧、祖師谷、千歳台、大蔵 砧公園、喜多見 |
| F 玉川会 | 浜田康夫 | 井沢、平井、大内、 細沢、真木、谷田辺、 柴田 | 大井町線自由が丘～ 二子玉川 | 奥沢、尾山台、中町、上野毛、等々力 玉川台、玉川、宇奈根、玉川田園調布、 野毛、東玉川、瀬田、岡本、鎌田 |
| G さくら会 | 矢田廣 | 西川、奥田、永井、 江原 | 田園都市線駒沢大学～用賀 | 上用賀、用賀、新町、桜新町、深沢、弦巻、 玉川台 |

(ブロック担当) 副会長 柴田 昇/記

情報ガイド

◆政治経済学部再編

国際政治経済学科二〇〇四年四月誕生

二〇〇四年度から、従来の政治学科、経済学科に加え、新たに国際政治経済学科が新設された。国際政治経済学科では、政治学と経済学の両方を基礎から体系的に学び、国際的な視野と政策提言能力を身に付けることを主眼としている。

◆国際政治学科の特徴は？

Philosophy (公共政治経済哲学)・Political Science (政治学)・Economics (経済学)を個別の学問領域としてではなく、三位一体の実践的学問として学ぶことを目指している。

◆政治学科、経済学科とどこが違うの？

両学科は既に確立している政治学や経済学を学ぶためのカリキュラム編成となつてい

る。国際政治経済学科では、政治学と経済学を真に融合するため公共哲学という社会制度設計理念を学ぶ。

◆国際政治と国際経済を学ぶ学科なの？

それだけではなく、国際的視点はもちろん、時代、文化、地域、そして従来の学問領域の枠をも超えて、グローバルな視点で、政治・経済・社会の動きとそれらが抱える問題を見極め、解決・改革のためのビジョンの習得を目的としている。

◆大学院ファイナンス研究科

ビジネス界をリードする高度職業人養成を目指す
二〇〇四年四月開設

開設の背景

開設の背景には二つの大きな潮流がある。第一は、終身雇用と年功序列が急速に崩壊し始めている現在、転職や再就職のために必要な知識を学ぶ場、柔軟性や融通性を取り戻すためのリカレント教育の必要性がある。特に近年、激しい変革が起きている金融・

資本市場関連業務においては、そのニーズはとりわけ顕著である。

第二は、市場型ファイナンスへの移行による高度専門能力の必要性である。これまでの金融・資本市場は、銀行が仲介を行う金融システムが支配的だったが、現在は大企業を中心に、株式や社債などの証券を自ら発行し、市場から直接資金を調達するなど、銀行借入中心から市場型ファイナンスへと急速に多様化して居る。これによって企業の財務担当者には、ファイナンスの知識はもとより、会計や法律の専門的知識まで求められるようになった。また、資金運用の分野でも、金融商品開発やトレーディング等の技法、証券分析などの市場回りの業務をこなす技能への需要が高まっている。

このような背景の下、大学院ファイナンス研究科では、ファイナンス理論や会計、経済学、金融法務などの知識を身に付け、総合的に有効活用できる高度専門職業人の養成を目指している。

◆日本橋一丁目ビル

旧東急百貨店日本橋店前から兜町に続く永代通りは九七年代「倒産通り」と擲楡(やゆ)されたが日本橋再開発の一環として日本橋一丁目ビル(旧東急百貨店日本橋店跡)が完成しメリルが呼び水となつて、同ビルには早大大学院フアイナンス研究科が入居する。早大副総長の村岡洋一氏は「日本橋は兜町に隣接し、トックラスの金融機関が集積して『金融版シリコンバレー』になる潜在能力がある」と期待する。(早稲田ウィークリー) (日経産業)

◆ラグビー蹴球部

全勝優勝

部史上初三年連続二十八回目!!

平成十五年十二月七日、伝統の早明戦は、国立競技場を埋めた五万人の観客と選手等全員による故奥克彦大使(昭和五十六年政経卒)への一分間の黙祷で始まった。かつて我がラグビー部に所属し、清宮克幸監督も兄のように慕い、アルティメットクラッシュ(究極の破壊)という昨年のチ

ームのスローガンの生みの親でもあった奥氏が、イラクでテロの凶弾に倒れて一週間。喪章を襟に縫いこんでの追悼試合となった早稲田としてはここで負けるわけにはいかない。一方、今季元氣のない明治も、大学選手権での活躍につなげるためには、まさに背水の陣で勝ちにくる。両チームとも臍を決して臨んだ一戦であった。前半四トライ二ゴールで折り返した早稲田に対し、後半明治が盛り返し連続トライを挙げたが、ロスタイムもホトンドなくなつた最後のワンプレイで、W T B 首藤甲子郎(スポ科1年)選手が左隅へ飛び込みトライを決めて、ノーサイド。伝統の試合にふさわしい好ゲームだった。

| 日程 | 対戦相手 | 結果 |
|-------|--------|-------|
| 9/28 | 立教大学 | 97-7 |
| 10/5 | 青山学院大学 | 116-7 |
| 10/19 | 日本体育大学 | 87-33 |
| 10/26 | 筑波大学 | 50-17 |
| 11/8 | 帝京大学 | 64-26 |
| 11/23 | 慶應義塾大学 | 56-29 |
| 12/7 | 明治大学 | 29-17 |

(早稲田ウィークリー)

◆「芥川賞」に最年少女性受賞!!

第三百十回芥川賞は十九歳の綿矢(わたや)りさんの「蹴りたい背中」が史上最年少受賞となった。

綿矢さんは京都市出身。本名は山田梨沙。早稲田大学教育学部在学。二〇〇一年に「インストル」で文芸賞を最年少で受賞。「蹴りたい背中」は寂しさを感じつつも人と群れようとしない女子高校生の日常を表現した。(読売)

(会員のひろば)

◆「奈良と渡来系の人々」

(投稿随筆) 内藤 隆福 (昭六・理工・電気)

「奈良の都は咲く花の句うが如く今盛りなり」と歌われる、日本有数の美を誇る古都・奈良。

しかし、その昔、この奈良の地にやってきた渡来系の人々に想いをはせるとき、もしかしたら「奈良」の語には、「奈落」というニュアンスが含まれていたのかもしれない。...

人々は、武力をほとんど有していなかったため、ついに半島から追い出され、そして「大和の国」すなわち日本へと逃れてきたのであるが、大部分の人々は着の身着のまま奈良の地に行き着き、その生活は少なからず困難を極めたであろう。まさに「奈落の底」のごとき苦しみを伴った生活だったのではないかと、私は思うのだ。

奈良市の周囲には、釈迦が岳、仏教が岳、カニシカが岳、俱留尊山などなど、仏教に関係の深い名称をもつ山々が多い。これは、百済から渡来してきた人々が、自分たちが生活している土地の周囲に、厳然と聳え立っているそれらの山々を、仏として見立て、救済を求めたということなのかもしれない。

山々だけではない。飛鳥寺や法隆寺、東大寺、唐招提寺、室生寺といった、奈良を彩る素晴らしい名刹群も、「奈落」のような生活の中にあつた人々に救いをもたらすために建立されたものなのかもしれない。ちなみに「飛鳥」という語

「創立百二十五周年記念事業募金応募状況」

(寄付実績) (世田谷稲門会) 個人法人
(平成13年10月より法人寄付依頼開始)
(法人) : 支部等扱い法人のみ
平成16年3月9日実績

| | |
|-----------------------|----------------|
| (個人) | 87,820,920円 |
| (団体) | 725,125円 |
| (世田谷稲門会寄付金600,000円含む) | |
| (法人) | 8,700,000円 |
| (高額寄付) | 40,736,526円 |
| (計) | 137,982,571円 ① |

| | |
|--------------|----------------|
| (目標) (協力依頼額) | 219,450,000円 ② |
| (内訳) | |
| (個人) | 195,210,000円 |
| (法人) | 24,240,000円 |
| (達成率) | ①/② 62.9% |

の語源は、仏教を世界にひろめることに貢献したインドの王・アショカが転じたものではないかと思う。

◆「デジタル時代の感慨」

大崎 介蔵

(昭二十七年理工・通信)

ハイブリッド自動車が普通乗用車として活躍しているが、ガソリンエンジンとモーターの二つの駆動装置を備え、これらを切り替えて発進・加速する車である。こうすれば排気ガス総量が少なくなり、燃費の節約にもなる訳だ。今の所価格が割高であるが環境問題に貢献するとかでそれなりの人気がある。そのうちにもっと新しいエンジンや新しい電池が開発されるかもしれないのだが、デジタル時代の技術の進歩は実に目覚ましい。

ハイブリッド人間なる人種が現れた、彼等は二つの機能を駆使する事ができる。一つは従来の学問的な歴史・思想・技術・経験などを良く研究している。もう一つは携帯情報端末機器(PHD)などの装置を使って世界で起こる時々刻々のニュースを瞬時に

捕え、テレビに報道される以前に経済・金融・技術・情報などをマルチに理解している。昨年(昭三十七)の事だが十二月八日に

会社に行つて若い女子社員に「今日は何の日だ」と言おうとしたらマルチ・ハイブリッド社員から待ったがかかった。「そんなことを云ったら女子社員はまた年寄りの説教が始まったとしか感じないよ」そこで早速情報端末機器を使つて調べるとその日はピートルズのジョンレノンが殺された日だとかで若い女子社員に話したらやっと聞く耳が開かれ、その日はハワイ真珠湾奇襲の日だと話したら歴史認識を少しばかり理解したようだった。これからの日本を背負つてたつ若者に将来を託するにはこの配慮が重要と感じた次第。ついでながら、この日はプロレスの力道山が殺された日だと云つたがこれは力道山なんて知らないで終わり、小生の年になると若者を育てるにはそれなりの工夫が大切だと痛感する。

前回の衆議院選挙で当選者の平均年齢は五三・六才とか、中国にしても韓国にしても指

導者の年齢が若くなつていて。明治維新は二十代の若者が活躍した。昭和維新は軍縮による汚職(ジーマンス事件)などで政治の腐敗を憂える海軍

将校が犬飼首相を暗殺した(五・一五事件)昭和十一年陸軍の青年将校が決起して岡田啓介首相を襲い(未遂)高橋蔵相等重臣を暗殺したが非公開の軍法廷によつて闇に葬られてしまい(二・二六年事件)青年将校等は銃殺になつた。さて平成維新となるが小泉首相は一応旧体質の自民党は脱皮したから早く次世代の若い総理に譲るべきだと考える。自民党の若手議員と自民党を脱党した小沢さんなどが組んで旧体質の自民党と覇を争うべきだと思つた。

相撲の朝青龍が圧倒的な力で全勝優勝した。片や栃東の無様な負け方、腕の一本や二本が折れても頑張る気迫は全く見られない。これでは国技の相撲はハワイからモンゴルにやがてロシアにゆくだろう横綱審議会も早く封建的な茶屋制度の廃止を提案して、世界に向かつての相撲を目指すべきである。

◆世田谷稲門会「食べ歩き部会」

有志による中国旅行の「案内」

水島 豊

(昭四十・政経) 小生が会員の東京都日中友好協会では、今年度の訪中事業として、「中国王朝街道の旅(訪問地 北京・西安・洛陽・開封・鄭州・上海)」を計画いたしました。

北京で二泊して西安に入りますが、黄河中流の三大古都である西安、洛陽、開封は、遣唐使や遣隋使が訪れ、日本とのつながりの深い地です。今回も北京市人民対外友好協会の招請で、大変魅力的な旅になると思つたので、是非ご予約に入れて、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

ご希望の方には、その時期になりましたら、また詳しいご案内を差し上げますが、一緒に魅力ある中国の旅が出来ますことを楽しみにしております。

一 日程 八月八日(日)より十五日(日)まで 七泊八日

二 旅行費用 概算 二十七

万円位

ご連絡・お問い合わせは左記へ

記

〒一五六〇〇五六

世田谷区八幡山二一五―十九

水島豊

TEL 三三〇二一七二七五

FAX 三三〇二一七二七九

(世田谷稲門会 食べ歩き部会 員)

◆「新年会初参加者の礼状」

寺澤 隆夫

(昭二十九商)

本年一月に新加入された久保田浩章さんより左記のような新年会初参加の感想を寄せられました。

このような感想を頂くことは、お世話役の幹事にとつても「良かった」と感激ものでした。

どうも有難うございました。

未だ全体の会(新年会・総会・納涼会等)に参加されたことのない方が何人かおられますが、是非一度顔を出して下さい。

記

寺澤様

新年会 出席させていただきます

きました。アットホームな感じがあり、これまで愛校心のあまり無かった自分を奮い立たせてくれました。

また、雰囲気がとても暖かかったです。ご準備をされた方のご苦勞も大変なものか察します。出席の機会を賜り有難うございました。

若年もので何も出来ませんが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

久保田浩章（昭六十理工）



訃報

当会会員 岩永守氏（昭和二十五年商卒）は平成十五年十一月十九日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

世田谷稲門会の現状と新規会員の募集について

世田谷稲門会は平成4年にスタートしました。年々会員数も増加し、都内23区の稲門会でも1~2を争う会に成長しています。

| | |
|----------------------|------|
| 平成15年11月20日現在（会報24号） | 364名 |
| 以後（新入会者） | 13名 |
| ”（退会・逝去者） | 2名 |
| 平成16年3月10日現在 | 375名 |

当稲門会としては、何とか400名以上の会員数にしたいと考えております。是非ご近所の方、同級生の方、会社の同僚等同窓の方をご紹介下さい。

事務局までご連絡頂ければ早速申し込み用紙をお送り致します。
(〒157-0073 世田谷区砧8-19-15 寺澤隆夫 Tel & Fax 3415-1887)

全体の行事としては、1月の新年会・5月の総会・8月の納涼会と年3回の行事のほか秋には「早稲田大学校友会東京23区支部のつどい」（大隈庭園）が行われます。また下部組織として下欄のような部会があり、活発な活動をしています。（入会申し込みは代表世話人まで）

代表世話人・会員数・部会概要・年会費等一覧

(平16.3.10)

| | | | | |
|--------|---------|-------------------------------|------|-------------------------------|
| ゴルフ | 平井 恒夫 | (TEL&FAX 3704-6332) | 101名 | 年4回のコンペ開催（年会費2000円） |
| スポーツ観戦 | 山口 進吾 | (TEL&FAX 3303-2733) | 60名 | 春秋の野球早慶戦応援（年会費参加者から500円） |
| 麻雀 | 下谷内 亮 | (TEL 0705-712-2651) | 52名 | 奇数月の第3土曜日 偶数月の第3日曜日（年会費1000円） |
| ボウリング | 武藤 哲 | (TEL&FAX 3302-2607) | 18名 | オオクラ・ボウルで（毎月第3日曜日または第4日曜日） |
| 釣り | 柴田 昇 | (TEL 3700-1290 FAX 3567-3318) | 22名 | 月中の土日溪流釣り月末土船沖釣り（年会費1000円） |
| 食べ歩き | 麻生 卓司 | (TEL&FAX 3414-4706) | 62名 | 年4回の例会（原則2、4、9、11月）（年会費1000円） |
| 囲碁・将棋 | 矢田 廣 | (TEL 3700-1378 FAX 3700-1388) | 24名 | 年4回の例会（3、6、9、12月） |
| 社交ダンス | 武田 信夫 | (TEL&FAX 3704-5321) | 8名 | 各自分散練習。毎週木目黒稲門会と合同例会 |
| カラオケ | 蒲原 信一 | (TEL&FAX 3307-8368) | 41名 | 年5回の例会（土又は日）（年会費1000円） |
| ウォーキング | 寺澤 隆夫 | (TEL&FAX 3415-1887) | 32名 | （第1日曜日）（年会費1000円） |
| 写真 | 真 種谷 鴻成 | (TEL&FAX 5433-7052) | 18名 | 年6回の例会 奇数月土曜日（年会費1000円） |

(注)（年会費は通信費であり例会開催会費は別途徴収する。）

◆投稿・提案を

お待ちしております。

□発行日は、原則、年三回の全体行事の一カ月前です。発行日前に約一ヶ月の印刷期間が必要です。原稿は発行日の「約一カ月前」にさかのぼって間に合う時期にお寄せ下さい。

匿名記事はお受けできません。

□原稿は一行十三字とします。

縦書きで右から左へお願いします。

□スペース上の理由などから字句の整理や一部の割愛などさせていただきます。ただの場合があります。あらかじめご了承ください。

※次号発行日・七月二十二日予定

原稿〆切・六月二十日

事務局または広報委員会（大須賀肇）までお寄せ下さい。

◆「会員名簿」の発行について
 平成十六年四月一日現在の「世田谷稲門会名簿」を発行いたしました。
 会員各位には総会案内状発送の際（四月）に「会員名簿」を同封しお届けいたします。

◆世田谷稲門会年会費払込（振込）のお願い
 （事務局長 寺澤隆夫）
 世田谷稲門会の活動は会員皆さんの貴重な年会費に支えられております。事務処理上改めてお願いしたい事項がございますのでご協力ください。

一 世田谷稲門会の事業年度は毎年四月一日～翌年三月三十一日となっております。従いまして具体的には毎年総会の案内状発送の際（四月）に「払込取扱票」（郵便局）を同封いたしますのでその後速やかに払込みください。なお、銀行がお近くで慣れている方は銀行振込をご利用ください。

二 年会費の金額は間違いのないように払込（振込）ください。

| | | | |
|-------|---------------|------------|-------|
| 単独会員 | 3000円 | ご夫婦会員 | 5000円 |
| (ご参考) | | | |
| 郵便局払込 | 00100-0-12240 | 世田谷稲門会事務局 | |
| 銀行振込 | みずほ銀行成城南口支店 | 普通 1849947 | |
| | | 世田谷稲門会事務局 | |

以上事務負担軽減上事務処理が短期間で終了できるようご協力ください。

事務局会計担当（川村保夫）
 TEL/FAX 3417-7104

新入会・退会・名簿の正誤・住所移転等のお知らせ

[名簿（平成14年4月発行）正誤表（平成14年5月20日）及び会報20～24号記載事項]以降（敬称略）

（新入会）

- 1 大谷 弘（平13社会）
- 2 熊谷 慶紀（昭38政経）
- 3 佐藤 好司（昭45商）
- 4 佐野 暢彦（昭34法）
- 5 永井 達也（昭50政経）
- 6 木村 史郎（昭46商）
- 7 久保田浩章（昭60理工）
- 8 田岡 義計（昭26政経）
- 9 奥田 一志（昭53商）
- 10 林 素行（昭42政経）
- 11 友吉 彰（昭42政経）
- 12 佐々倉 靖（昭29文）
- 13 脇坂 元彦（昭34政経）

個人情報につき不掲載

（退会）

- P.28 小松 健一 P.10 岩永 守

編集後記

今年も定時総会の時期になりました。全体会、各部会やブロック会等多彩な親睦活動が展開されていることはご同慶の至りです。早稲田大学校友会東京23区支部も設立後早や1年がすぎ、去る2月18日の支部大会「白井総長を囲む会」はリーガロイヤルホテル東京（早稲田）で盛大に行われました。「世田谷稲門会は23区各稲門会中最大動員数を誇った」との杉並稲門会ホームページがインターネット上に掲示されています。

今後とも世田谷稲門会会則の「目的」にある「校友会との連携を密にし早稲田大学の発展に寄与し…」の実現に一歩ずつ歩を進めていきたいと思っております。（〇）